

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県	
政策目的	令和元年台風15号及び19号により被災した施設の復旧		
政策目標	経営構造改善目標	31-10	
事業実施主体	鋸南町保田漁業協同組合		
実施地区名	鋸南町保田地区		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	令和元年度	令和4年度	
交付金額	3,075,000円		
事業計画の内容	令和元年台風第15号及び第19号により被災した施設を早急に復旧することで、浜の活力再生プランの遂行を図る。（製氷・貯氷施設（日産10t、貯氷30t）の修繕）		
評価	成果目標	1. 目標の内容 施設復旧による受益者を代表し、漁協自営定置網の事業総利益を目標とする。 2. 目標の考え方 被災した施設を現状復旧することで、事業総利益の回復を図る。	
	現状値	事業総利益 ●●●千円	
	目標値	事業総利益 ●●●千円	
	(1) 現状値の説明	カタクチイワシの水揚げ及びアジの水揚げ減少により、事業総利益の実績額は目標値に届かなかったものの、食堂事業でのコストダウンを図る為、定置網で漁獲された魚介を積極的に使用したことで、一定の利益を上げることが出来た。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	被災した製氷・貯氷施設の復旧により、漁獲物の鮮度保持に繋がっている。	
	(3) 所見	製氷・貯氷施設が復旧したことで、水揚げ物の鮮度向上・生産性の利便が図られ、事業利益の安定的な計上に寄与しているものと考えられる。	
(4) 評価機関の意見等			
今後の改善方向等に関する分析	被災施設の復旧により、鮮度保持を徹底することで魚価の向上が期待できる。 また、定置網の定期的な修繕及び洗浄を行い、管理に努めることで突発的な休漁を減らし、さらなる安定的な事業利益の計上が期待できる。		